

農業と諸産業の発達

名前 _____

_____ 月 _____ 日

今日の問い

江戸時代、農業や諸産業はどのように発達し、人々の暮らしをどう変えたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 農業はどのように発達したか。

新田開発・農具・肥料・商品作物

幕府や藩は年貢を増やすため ¹ 新田開発 をすすめ、18世紀の初めには耕地面積が豊臣秀吉のころの約2倍になった。土を深く耕す ² 備中ぐわ や、脱穀を速くする ³ 千歯こき が広まった。お金で買う肥料の ⁴ 干鰯 が使われ、綿や菜種などの ⁵ 商品作物 を売って、百姓が現金を得るようになった。こうして農村にも貨幣が広まった。

2 漁業や鉱業はどのように発達したか。

九十九里浜のいわし・佐渡金山

⁶ 九十九里浜 のいわし漁がさかんになり、いわしは干鰯に加工された。蝦夷地で ⁷ にしん 漁が行われた。幕府が直接治めた ⁸ 佐渡金山 の金や ⁹ 石見銀山 の銀は貨幣の材料となり、銀や銅は長崎での貿易でも輸出された。各地では、その土地の原料を生かした ¹⁰ 特産物 もつくられた。

まとめ

今日の問いに答えよう。「新田開発」「商品作物」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)幕府や藩は新田開発をすすめ、農具や肥料の改良で農業の生産力が高まった。百姓は商品作物を売って現金を得るようになり、農村にも貨幣が広まった。

☐ 農業の発達の様子がわかる☐ 商品作物と貨幣の広がりがわかる☐ 漁業と鉱業の発達がわかる

できた

/ 10

